

## 昭和55年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

### 1. 「おおすみ」 「船の科学」1980-4 (Vol.33, No.4) より採取。

- ・高速大型長距離自動車航送客船 「おおすみ」 総トン数 9,236.99 T 大阪 - 鹿児島志布志間  
旅客定員 733 名、 車輛搭載 8 tトラック 86 台、 4 tトラック 32 台、 乗用車 67 台 計 185 台
- ・船主 : 日本カーフェリー (株)
- ・建造 : 幸陽船渠 (株) 昭和 55 年 2 月 18 日 竣工
- ・ 1 ) は本船全景、 2 ) は機関制御室、 主機および発電機操縦盤、 監視警報グラフィック盤、 データロガーなど

1) W55-01 おおすみ 本船全景



2) W55-02 おおすみ 機関制御室



### 2. 「新愛徳丸」 「船の科学」1980-12 (Vol.33, No.12) より採取。

- ・省エネ帆走商船 「新愛徳丸」 DWT 1,475.60 t 省エネ帆走型第一船  
帆装置は 矩形層流型硬帆 2 組 (巾 8m, 高さ 12.15m) を装備、帆の展帆、縮帆はマイクロコンピュータにより制御される。 主機関 ディーゼル機関 1,600 PS、 速度 (満載航海) 12kn
- ・帆の制御、 運航管理用として 3 台のマイクロコンピュータを使用している。 帆装置用として、展帆、縮帆、適正帆角、 向風制御用のコンピュータ、 帆の推進力を算出し、 主機関出力にその変化量を加減することにより必要な基準船速が保持できるようにするコンピュータおよび定時運行を確保するための運航管理用コンピュータである。
- ・船主 : (株) 愛徳
- ・建造 : (株) 今村造船所 昭和 55 年 9 月 9 日 竣工

- ・ 3 ) は本船全景、 4 ) は運航管理用コンピュータ、 5 ) は主機関及び C P P 自動制御装置、 6 ) は 写真は見にくい自動操帆制御盤である。

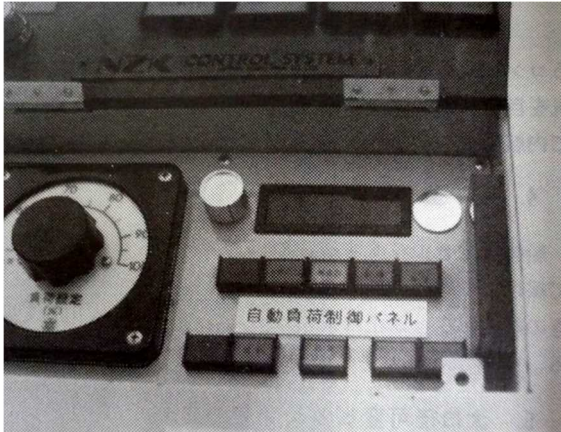
3) W55-03 新愛徳丸 本船全景



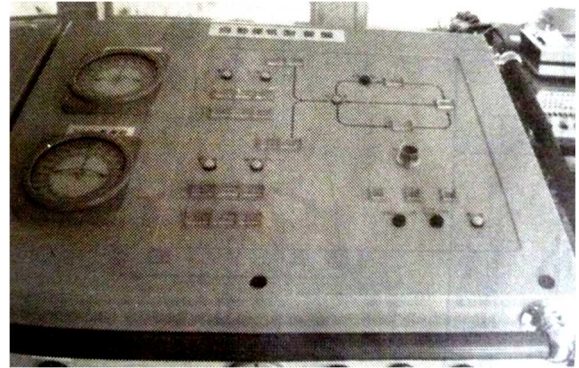
4) W55-04 新愛徳丸 運航管理用コンピュータ



5) W55-05 新愛徳丸  
主機関及びC P P自動制御装置



6) W55-06 新愛徳丸 自動操帆制御盤



3. 「玄海丸」 「船の科学」1981-4 (Vol.34, No.4) より採取。

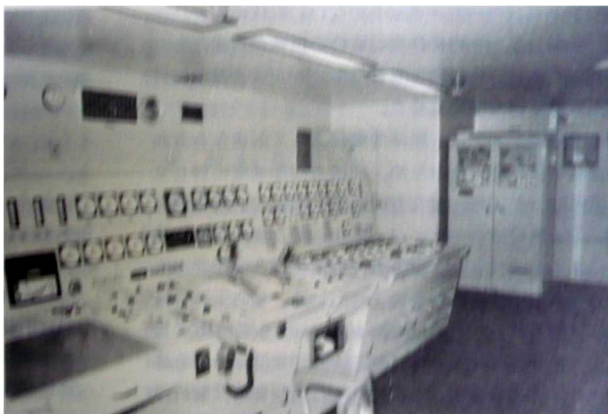
- ・IMCO ガスコード「独立タンクタイプB」取得、第一船 80,000 m<sup>3</sup> 型L P G船「玄海丸」DWT 49,999 t
- ・船主 : 出光タンカー(株)
- ・建造 : 石川島播磨重工業(株) 相生第一工場 昭和55年11月15日 竣工

7) W55-07 玄海丸 本船全景

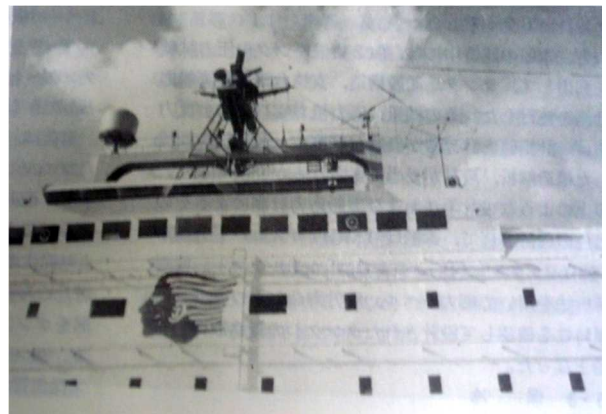


- ・7) は本船全景、8) は機関制御室、9) は船橋全面、マスト上部にレーダアンテナ、左側に海事衛星通信装置のドーム状のアンテナが見える。

8) W55-08 玄海丸 機関制御室



9) W55-09 玄海丸 船橋全面



4. 「CYS KNIGHT」 「船の科学」1981-2 (Vol.34, No.2) より採取。

- ・MARPOL (1973年海洋汚染防止条約) および PROTOCOL (1978 議定書) 適用中型プロダクト・キャリアー「CYS KNIGHT」 DWT 36,829 t
- ・船主 : South Pacific No.1 Petroleum Carriers Inc.(Liberia)
- ・建造 : 笠戸船渠(株) 笠戸造船所 昭和55年9月25日 竣工

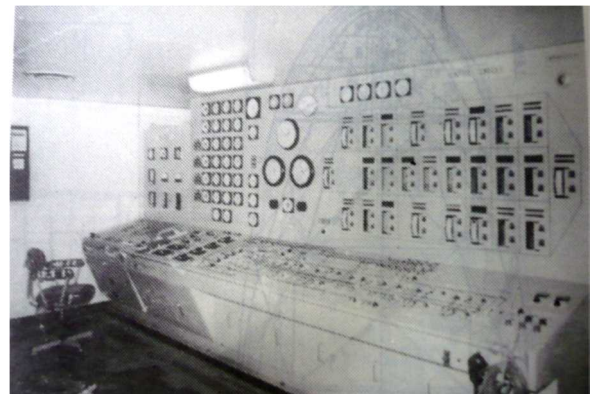


- ・ 10) は本船全景、11) は荷役制御盤で、手前(右) バルブ開閉、(左) ポンプ制御関係、正面(右) タンク液面計、(左) ポンプ関係圧力ゲージ。

10) W55 - 10 CYS KNIGHT 本船全景



11) W55 - 11 CYS KNIGHT 荷役制御盤



#### [メモ]

- 1) 省エネルギー対策の一つとして 帆船が登場した(新愛徳丸)
- 2) カーフェリーが大型となり(総トン数 ab.9200トン) 高速化、長距離化した(おおすみ)
- 3) 本稿では取り上げていないが、改造船で56万トンタンカー「SEAWISE GIANT」が報告されている。  
(42万トンから56万トンへ 昭和55年12月12日完工 住友重機械)